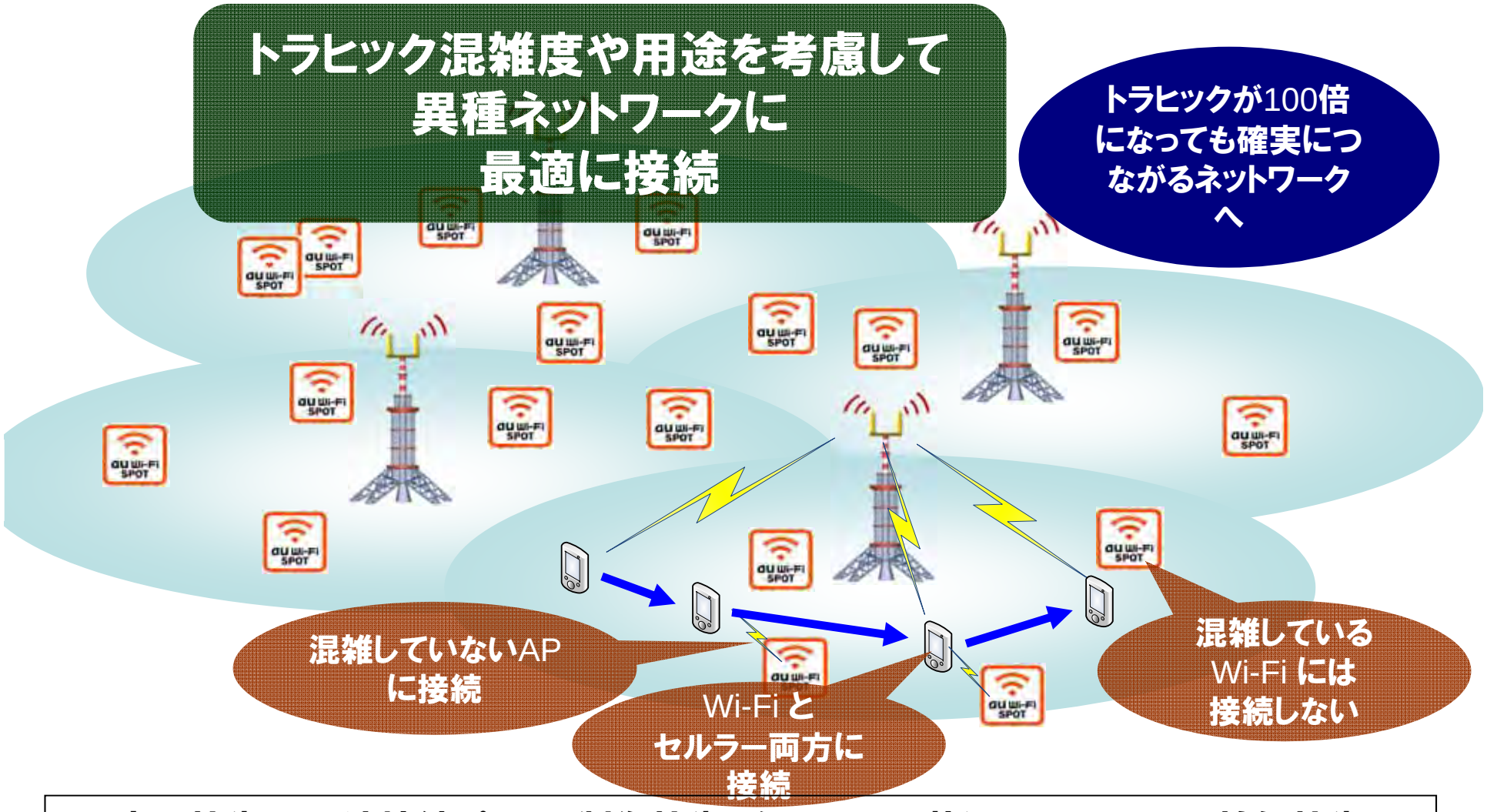
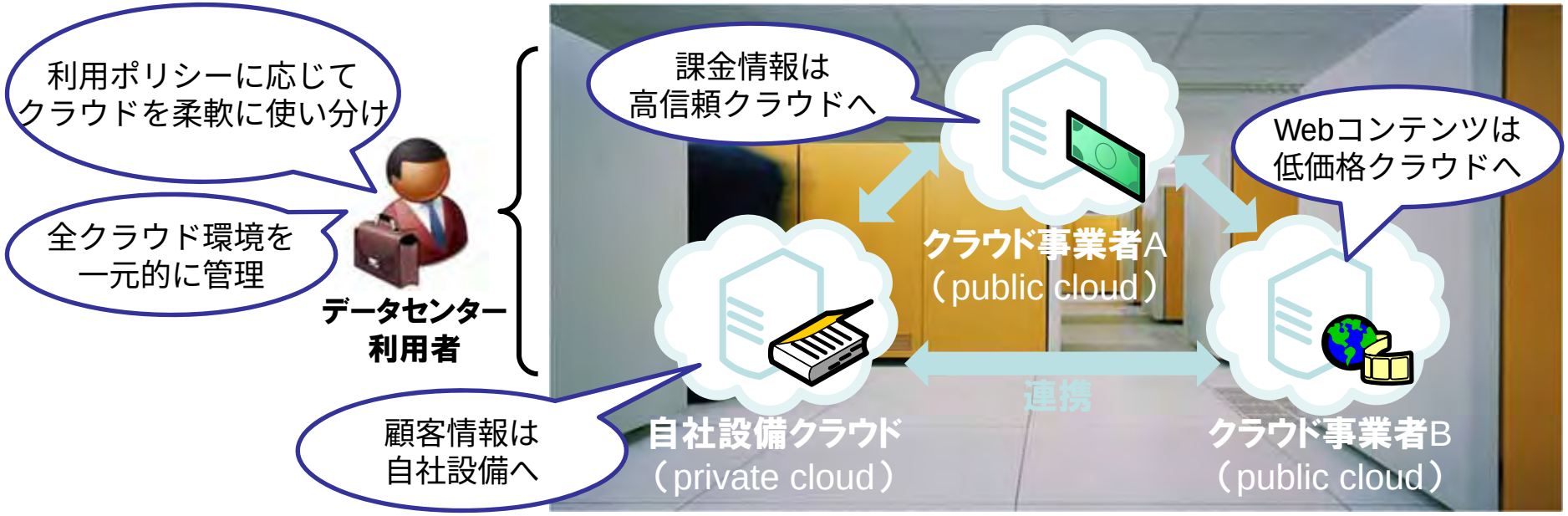
# 2. モバイルアクセス技術（マルチネットワーク）




- 実現技術： 最適接続ポリシー制御技術、ネットワーク状況のリアルタイム検知技術、マルチ無線のダイナミック切替／合成技術
- 効果： それぞれのネットワークを個々に最適に利用する場合に比べて、複数ネットワークの“好いとこ取り”により、トータルの周波数利用効率をさらに改善

# 2. クラウド・コンピューティング技術

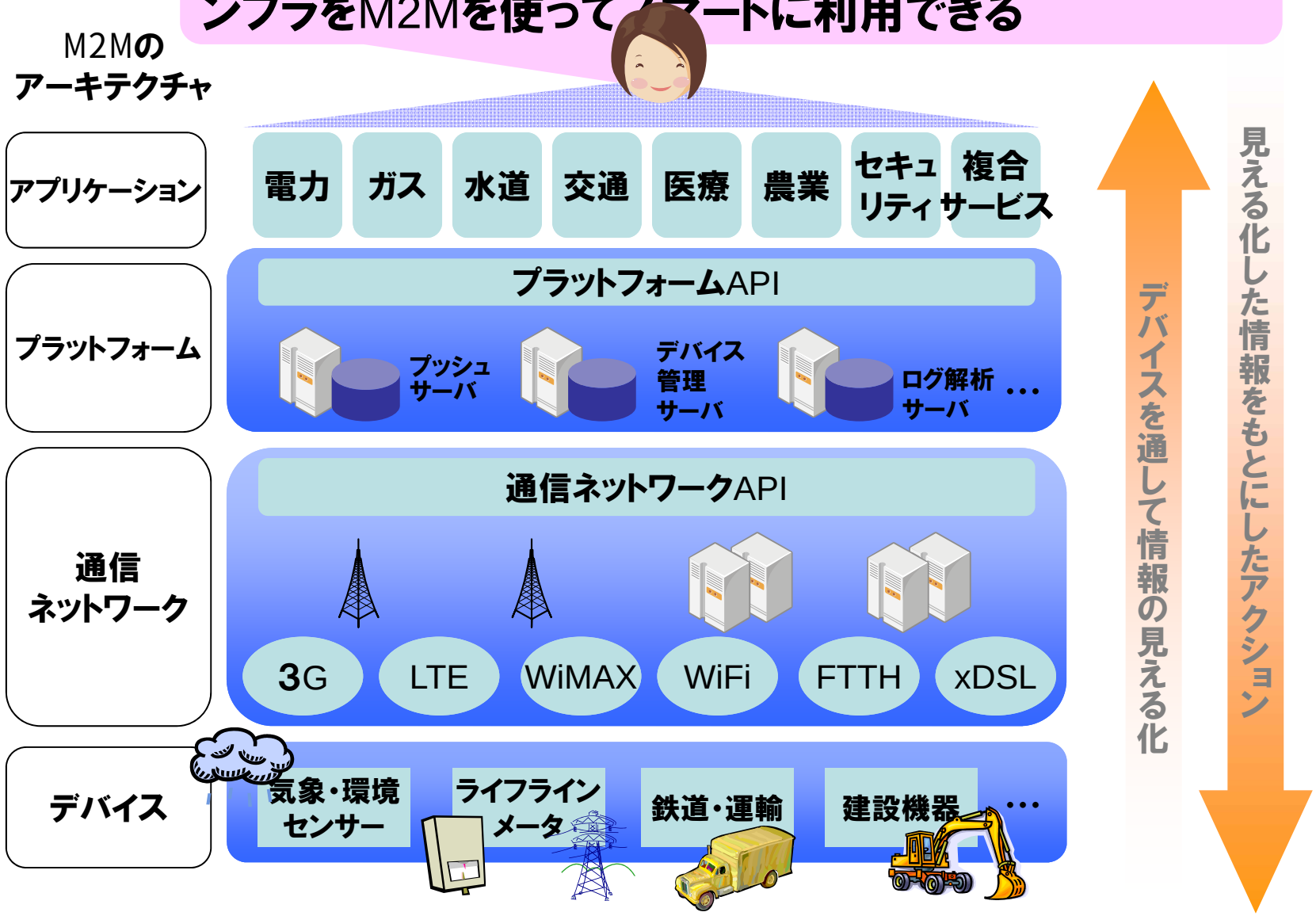
- 仮想データセンター over クラウド
  - 複数のクラウドを組み合わせ、利用者の用途に応じたデータセンターを実現




- 実現技術： データセンター抽象化技術。インタークラウド連携技術。SLS (Service Level Specification) に基づくサービスレベル管理技術。
- 効果：利用ポリシーに応じた柔軟なリソース割当て・融通。クラウド相互運用による高可用性・事業継続性確保。超大規模データウェアハウスの実現。

# 2.　社会インフラを支えるM2M

**ユーザが目的（省エネ、省コスト等）に合わせて社会インフラをM2Mを使ってスマートに利用できる**



# 3. なぜユーザセントリックなのか？ －テクノロジーの成熟化－

**ユーザ視点でみると、ICTサービスは多彩になったが、煩雑さも増加**

**サービスはますます進化するが、煩雑なことは意識させないICT**